

吹田市合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート

評価実施年月：平成 29 年 3 月

1. 対象事業	吹田市南吹田処理区合流式下水道緊急改善事業																							
2. 実施主体名称	吹田市																							
3. 計画期間	平成 17 年度～平成 25 年度																							
4. 対象事業の進捗状況	<p>平成 16 年度計画策定及び平成 21 年度計画変更に基づき以下の対策を実施した。</p> <p>①汚濁負荷量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨天時活性汚泥法の導入、雨水滯水池の設置(4,500m³)、雨水沈砂池のドライ化 <p>②公衆衛生上の安全確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨天時活性汚泥法の導入、雨水滯水池の設置(4,500m³) <p>③きょう雑物の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクリーンの目幅縮小 																							
5. 目標の達成状況と達成の見通し	<p>計画の目標に対する達成状況（達成率）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>評価指標</th> <th>平成 16 年度末 (計画当初)</th> <th>改善目標</th> <th>平成 27 年度末 (事後評価)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①汚濁負荷量の削減</td> <td>BOD 放流負荷量</td> <td>405 t/年 (0%)</td> <td>130 t/年</td> <td>123 t/年 (100%)</td> </tr> <tr> <td>②公衆衛生上の安全確保</td> <td>未処理放流回数</td> <td>47 回/年 (0%)</td> <td>23 回/年</td> <td>22 回/年 (100%)</td> </tr> <tr> <td>③きょう雑物の削減</td> <td>スクリーン設置(改善)箇所</td> <td>0 箇所 (0%)</td> <td>1 箇所</td> <td>1 箇所 (100%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>① 汚濁負荷量の削減 汚濁負荷量の削減（分流式下水道並み）を達成した。</p> <p>② 公衆衛生上の安全確保 未処理放流回数の半減を達成した。</p> <p>③ きょう雑物の削減 スクリーンの目幅を縮小し、雨水吐の対策を実施した。</p>				区 分	評価指標	平成 16 年度末 (計画当初)	改善目標	平成 27 年度末 (事後評価)	①汚濁負荷量の削減	BOD 放流負荷量	405 t/年 (0%)	130 t/年	123 t/年 (100%)	②公衆衛生上の安全確保	未処理放流回数	47 回/年 (0%)	23 回/年	22 回/年 (100%)	③きょう雑物の削減	スクリーン設置(改善)箇所	0 箇所 (0%)	1 箇所	1 箇所 (100%)
区 分	評価指標	平成 16 年度末 (計画当初)	改善目標	平成 27 年度末 (事後評価)																				
①汚濁負荷量の削減	BOD 放流負荷量	405 t/年 (0%)	130 t/年	123 t/年 (100%)																				
②公衆衛生上の安全確保	未処理放流回数	47 回/年 (0%)	23 回/年	22 回/年 (100%)																				
③きょう雑物の削減	スクリーン設置(改善)箇所	0 箇所 (0%)	1 箇所	1 箇所 (100%)																				
6. 対象事業の整備効果の発現状況等	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道法施行令による雨天時放流水質 BOD 40mg/L 以下を達成 雨天時放流水質 BOD 測定結果：39.9mg/L(H27.5.18)、18.7mg/L(H27.8.30) ・スクリーンの目幅縮小により、きょう雑物の流出を防止 																							
7. 事業の効率化に関する取り組み状況	<p>既存施設の改造による雨天時活性汚泥法、雨水沈砂池のドライ化を実施し、早期で経済的な対策を実施した。</p>																							
8. 今後の方針	<p>今後は整備した施設の適切な維持管理に努めるとともに、より効率的な運用を図る。また、現在でもホームページやパンフレットにより、合流式下水道緊急改善事業に対する市民や事業者の理解を得られるよう広報活動を行っているところであり、今後も引き続き情報発信を行っていく。</p>																							

吹田市合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート

評価実施年月：平成 29 年 3 月

1. 対象事業	吹田市川面処理区合流式下水道緊急改善事業																							
2. 実施主体名称	吹田市																							
3. 計画期間	平成 17 年度～平成 25 年度																							
4. 対象事業の進捗状況	<p>平成 16 年度計画策定及び平成 21 年度計画変更に基づき以下の対策を実施した。</p> <p>①汚濁負荷量の削減 川面下水処理場：雨天時活性汚泥法の導入、雨水滞水池の設置(3,000m³)、 最初沈殿池の晴雨専用化(1,600m³)、雨水沈砂池のドライ化 川園ポンプ場：既設調整池の滞水池化(3,000m³)</p> <p>②公衆衛生上の安全確保 川面下水処理場：雨天時活性汚泥法の導入、雨水滞水池の設置(3,000m³)、 最初沈殿池の晴雨専用化(1,600m³) 川園ポンプ場：既設調整池の滞水池化(3,000m³)</p> <p>③きょう雑物の削減 川面下水処理場：スクリーンの目幅縮小</p>																							
5. 目標の達成状況と達成の見通し	<p>計画の目標に対する達成状況 (%)：目標達成率</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">区 分</th> <th style="width: 20%;">評価指標</th> <th style="width: 20%;">平成 16 年度末 (計画当初)</th> <th style="width: 20%;">改善目標</th> <th style="width: 25%;">平成 27 年度末 (事後評価)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①汚濁負荷量の削減</td> <td>BOD 放流負荷量</td> <td>171 t/年 (0%)</td> <td>77 t/年</td> <td>76 t/年 (100%)</td> </tr> <tr> <td>②公衆衛生上の安全確保</td> <td>未処理 放流回数</td> <td>85 回/年 (0%)</td> <td>42 回/年</td> <td>40 回/年 (100%)</td> </tr> <tr> <td>③きょう雑物の削減</td> <td>スクリーン 設置(改善)箇所</td> <td>1 箇所 (50%)</td> <td>2 箇所</td> <td>2 箇所 (100%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>① 汚濁負荷量の削減 汚濁負荷量の削減（分流式下水道並み）を達成した。 ② 公衆衛生上の安全確保 未処理放流回数の半減を達成した。 ③ きょう雑物の削減 スクリーンを設置・改造（目幅縮小）し、雨水吐の対策を実施した。</p>				区 分	評価指標	平成 16 年度末 (計画当初)	改善目標	平成 27 年度末 (事後評価)	①汚濁負荷量の削減	BOD 放流負荷量	171 t/年 (0%)	77 t/年	76 t/年 (100%)	②公衆衛生上の安全確保	未処理 放流回数	85 回/年 (0%)	42 回/年	40 回/年 (100%)	③きょう雑物の削減	スクリーン 設置(改善)箇所	1 箇所 (50%)	2 箇所	2 箇所 (100%)
区 分	評価指標	平成 16 年度末 (計画当初)	改善目標	平成 27 年度末 (事後評価)																				
①汚濁負荷量の削減	BOD 放流負荷量	171 t/年 (0%)	77 t/年	76 t/年 (100%)																				
②公衆衛生上の安全確保	未処理 放流回数	85 回/年 (0%)	42 回/年	40 回/年 (100%)																				
③きょう雑物の削減	スクリーン 設置(改善)箇所	1 箇所 (50%)	2 箇所	2 箇所 (100%)																				
6. 対象事業の整備効果の発現状況等	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道法施行令による雨天時放流水質 BOD40mg/L 以下を達成 雨天時放流水質 BOD 測定結果：28.3mg/L(H27.8.12)、19.8mg/L (H27.8.30) ・スクリーンの目幅縮小により、きょう雑物の流出を防止 																							
7. 事業の効率化に関する取り組み状況	<p>既存施設の改造による雨天時活性汚泥法、雨水沈砂池のドライ化、最初沈殿池の晴雨専用化、既設調整池の滞水池化を実施し、早期で経済的な対策を実施した。</p>																							
8. 今後の方針	<p>今後は整備した施設の適切な維持管理に努めるとともに、より効率的な運用を図る。また、現在でもホームページやパンフレットにより、合流式下水道緊急改善事業に対する市民や事業者の理解を得られるよう広報活動を行っているところであり、今後も引き続き情報発信を行っていく。</p>																							